


報道発表資料の配付日時 6月20日(木) 14時00分

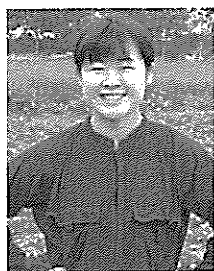
発表項目 (行事名)	 「ほっかいどう未来チャレンジ基金」による 2019年度海外留学助成対象者の決定について																															
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																														
		発表場所																														
概要	<p>学生の海外留学やスポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で知識や技術などの向上に取り組む若者を支援し、本道の将来を担う人材の育成を図るため、2016年12月に創設した「ほっかいどう未来チャレンジ基金」による助成対象者(第3期生)を次のとおり決定しましたので、お知らせします。</p> <p>■ 応募状況 計19人(全コース)</p> <p>■ 選考結果 ※詳細は別紙 計7人(学生留学4人、スポーツ1人、文化芸術1人、未来の匠1人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>氏名(発表日現在の年齢)</th> <th>分野(留学テーマ)</th> <th>渡航先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">学生留学</td> <td>石垣 のぞみ さん (20)</td> <td>本道の農業経営に生かすため、環境立国ドイツの有機農業やファームインを学ぶ</td> <td>ドイツ</td> </tr> <tr> <td>有働 篤人 さん (23)</td> <td>札幌を世界のデジタル観光都市にするため、ソフトウェア開発を学ぶ</td> <td>フィンランド</td> </tr> <tr> <td>海辺 菜々美 さん (21)</td> <td>北海道の地域資源を生かした観光振興のため、アドベンチャーツーリズムを学ぶ</td> <td>アメリカ</td> </tr> <tr> <td>立花 洋太郎 さん (21)</td> <td>ものづくり産業を支える「人」を育てるため、ICTを活用したものづくり教育を学ぶ</td> <td>ノルウェー</td> </tr> <tr> <td>スポーツ (指導者)</td> <td>向井原 洋平 さん (36)</td> <td>本道のスポーツ振興に貢献するため、最先端のアスレチックトレーナーとしての知識・技術を学ぶ</td> <td>アメリカ</td> </tr> <tr> <td>文化芸術</td> <td>清水 柚衣 さん (23)</td> <td>音楽に溢れた北海道づくりを目指すため、著名なピアニストのレッスンを受講</td> <td>ハンガリー</td> </tr> <tr> <td>未来の匠</td> <td>鹿野 皓己 さん (23)</td> <td>本道のワイン産業を振興するため、最先端の醸造技術を習得</td> <td>ドイツ</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 今後の予定 7月19日(金) 壮行会</p>			コース	氏名(発表日現在の年齢)	分野(留学テーマ)	渡航先	学生留学	石垣 のぞみ さん (20)	本道の農業経営に生かすため、環境立国ドイツの有機農業やファームインを学ぶ	ドイツ	有働 篤人 さん (23)	札幌を世界のデジタル観光都市にするため、ソフトウェア開発を学ぶ	フィンランド	海辺 菜々美 さん (21)	北海道の地域資源を生かした観光振興のため、アドベンチャーツーリズムを学ぶ	アメリカ	立花 洋太郎 さん (21)	ものづくり産業を支える「人」を育てるため、ICTを活用したものづくり教育を学ぶ	ノルウェー	スポーツ (指導者)	向井原 洋平 さん (36)	本道のスポーツ振興に貢献するため、最先端のアスレチックトレーナーとしての知識・技術を学ぶ	アメリカ	文化芸術	清水 柚衣 さん (23)	音楽に溢れた北海道づくりを目指すため、著名なピアニストのレッスンを受講	ハンガリー	未来の匠	鹿野 皓己 さん (23)	本道のワイン産業を振興するため、最先端の醸造技術を習得	ドイツ
コース	氏名(発表日現在の年齢)	分野(留学テーマ)	渡航先																													
学生留学	石垣 のぞみ さん (20)	本道の農業経営に生かすため、環境立国ドイツの有機農業やファームインを学ぶ	ドイツ																													
	有働 篤人 さん (23)	札幌を世界のデジタル観光都市にするため、ソフトウェア開発を学ぶ	フィンランド																													
	海辺 菜々美 さん (21)	北海道の地域資源を生かした観光振興のため、アドベンチャーツーリズムを学ぶ	アメリカ																													
	立花 洋太郎 さん (21)	ものづくり産業を支える「人」を育てるため、ICTを活用したものづくり教育を学ぶ	ノルウェー																													
スポーツ (指導者)	向井原 洋平 さん (36)	本道のスポーツ振興に貢献するため、最先端のアスレチックトレーナーとしての知識・技術を学ぶ	アメリカ																													
文化芸術	清水 柚衣 さん (23)	音楽に溢れた北海道づくりを目指すため、著名なピアニストのレッスンを受講	ハンガリー																													
未来の匠	鹿野 皓己 さん (23)	本道のワイン産業を振興するため、最先端の醸造技術を習得	ドイツ																													
参考	ほっかいどう未来チャレンジ基金ホームページ http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm (第3期生のプロフィールや応援メッセージを掲載しています。)																															
報道(取材)に 当たってのお願い	若者が海外に挑戦する機運を高め、次に続く若者や基金への寄附などの協力者の増加を図ってまいりますので、積極的な報道をお願いします。																															
他のクラブ との関係	同時配付(場所) 同時レク																															
担当 (連絡先)	総合政策部政策局総合教育推進室(担当者:石本、新原) TEL ダイヤルイン 011-206-7380 内線 21-195、21-176																															

みらチャレ第3期生を紹介します

～2019年度に海外挑戦する若者たち～

2019年度は、学生留学、スポーツ、文化芸術、未来の匠の4つのコースに計19名の応募があり、その中から7名の若者を、ほっかいどう未来チャレンジ基金第3期生として選考しました。

学生留学コース



帯広畜産大学
学部3年
石垣 のぞみ
Ishigaki Nozomi

- テーマ 本道農業の魅力を発信するため、環境立国ドイツで有機農業を学ぶ
- 留学先 ドイツ（受入機関：現地農家）
- 留学期間 2019年10月～ 11か月間
- 留学目的 バイオダイナミック農業などを行うドイツの有機農家の元で研修生として働き、持続可能な農業のあり方について考えたい。また、農家民宿を運営する農家の元で働くことで、グリーンツーリズムについて学びたい。
- 意気込み バイオダイナミック農業やグリーンツーリズムを学ぶことで、持続可能で安心な農業を行う技術をドイツで習得し、将来は農業者として農村の魅力を守り、発信していきたい。



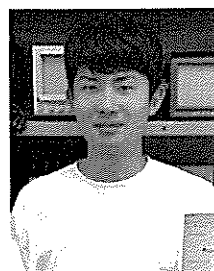
北海道大学
修士2年
有働 篤人
Udo Atsuhito

- テーマ 札幌を世界のデジタル観光都市にするため、ソフトウェア開発を学ぶ
- 留学先 フィンランド（受入機関：オウル大学、現地ゲーム企業）
- 留学期間 2019年9月～ 9か月間
- 留学目的 北海道経済を支えるような新たなゲームコンテンツ産業を創出するため、フィンランドで先進的なゲーム制作を学ぶとともに、北海道をデジタルコンテンツによって発展させるための端緒を掴む。
- 意気込み フィンランドでの研究や経験を基に、クリエイターが協力してゲームを作るイベントに運営として関わりたい。現在は札幌のみで行っているイベントを道内に広める方策を考え、北海道に新たな観光資源を創出したい。



北海学園大学
学部3年
海辺 菜々美
Kaibe Nanami

- テーマ 北海道の地域資源を活かした観光振興のため、アドベンチャーツーリズムを学ぶ
- 留学先 アメリカ（受入機関：マツコンベンション&ビジターズビューロー）
- 留学期間 2019年9月～ 6か月間
- 留学目的 アラスカでインターンシップとフィールドワークを行い、需要側のニーズと供給側の意識のギャップに注視しながら、アドベンチャーツーリズムについて調査・研究を行う。
- 意気込み 北海道や出身地の佐呂間町は、アクティビティ、自然、異文化体験の環境が揃っているので、留学で得た知識・経験を地元の観光産業の発展のために活用し、地方の中小企業の成長促進や若者の定着に繋げ、北海道の活性化に貢献したい。



北海道教育大学
学部4年
立花 洋太郎
Tachibana Yotaro

- テーマ ものづくり産業を支える「人」を育てるため、ICTを活用したものづくり教育を学ぶ
- 留学先 ノルウェー（受入機関：ベルゲン大学）
- 留学期間 2019年8月～ 6か月間
- 留学目的 教育先進国のノルウェーで、ものづくり関係の職業教育をカリキュラムに組み込んでいる学校を視察し、教師や生徒にインタビュー調査を行うことで職業観の育成についての日本との違いを学ぶ。また、ベルゲン大学でコンピュータテクノロジーやメディアリテラシーに関する授業を受講する。
- 意気込み 北海道のものづくり産業を支える「ひと」を育てるために、将来は技術科教員として子どもたちにもものづくりの魅力を伝え、ものづくりを楽しいと感じる子どもを増やしたい。

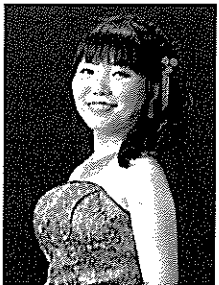
スポーツコース



向井原 洋平
Mukaihara Yohei

- テーマ 最新のスポーツ医学の知識、最先端の治療・リハビリ技術、トレーニング方法の習得
- 留学先 アメリカ（受入機関：サンノゼ州立大学大学院）
- 留学期間 2019年7月～ 12か月間
- 留学目的 アスレティックトレーナーとして知識や技術を更新するのは不可欠であるため、大学院で科学的研究に基づいた知識を深めるとともに、プロ・学生アスリートへの実務経験を積み、帰国後、北海道のスポーツ界にその知識や技術を還元する。
- 意気込み 四季に恵まれた北海道から夏季、冬季の両競技において世界的に活躍するアスリートが輩出される環境が北海道のスポーツ界に醸成されるよう、各競技団体の幅広い世代のアスリートや指導者の方々と関わり、スポーツを通じて北海道の発展に貢献したい。
- 【活動歴】・全米アスレティックトレーナーズ協会・公認アスレティックトレーナー(2013～)
・サンノゼ州立大学体育局 アスレティックトレーナー (2019.1～)

文化芸術コース



清水 柚衣
Shimizu Yui

- テーマ リスト音楽院ノンディグリープログラムへの参加
- 留学先 ハンガリー（受入機関：リスト・フェレンツ国立音楽院）
- 留学期間 2019年9月～ 10か月間
- 留学目的 演奏活動を通して音楽に溢れた北海道を創るとともに、後進の育成や北海道の音楽環境、音楽レベル向上に貢献するため、世界的に有名なピアニストのレッスンを受講する。
- 意気込み Kitaraで行われるリスト音楽院の教授によるレッスンに通訳として参加し、教授陣の音楽を北海道の若い音楽家たちに伝えたい。また、後進の育成に尽力し、北海道の音楽環境や音楽レベルの向上に貢献したい。
- 【活動歴】・北海道ショパン学生コンクール大学の部 金賞及び北海道新聞社賞受賞（2014）
・ショパン国際ピアノコンクールinASIAコンチェルトC部門銅賞（2019）など

未来の匠コース



鹿野 皓己
Kano Koki

- テーマ 北海道ブランドのワインを確立するため、ドイツで醸造技術を学ぶ
- 留学先 ドイツ（受入機関：現地ワイナリー）
- 留学期間 2019年9月～ 6か月間
- 留学目的 道産ワインを世界に流通するブランドとして確立させ、北海道をワインの銘醸地にすることを旨とし、ドイツでワイン醸造の最先端技術を学ぶ。
- 意気込み 習得した醸造技術や知識を還元することで、より高品質なワインを生産し、道産ワインのブランド力向上に貢献したい。
- 【活動歴】・北海道ワイン(株) 製造部品質管理室（2018.4～）
・北海道ワイン(株) 営業部営業推進課（2019.4～）

2019年度面接二次審査委員（応援パートナーズリーダー）からのコメント

五十音順
敬称略

◎応援パートナーズリーダーとは

応援パートナーの代表格として、海外挑戦を目指す若者の選考や壮行会、報告会等における激励・助言などを行い、若者たちの学びや成長を支え、若者たちを応援していただく方々に、応援パートナーズリーダーとしてご就任いただいています。

■株式会社いただきますかパコ代表取締役 井田 実美子

私たち挑戦者には未来を切り拓いていく責任があります。他国を知り、日本や自分を見つめ、知見を組み合わせることで、今までにない新しい概念や商品を生み出し地域のリーダーになってください。共に元気な北海道を創っていきましょう。

■クワトロ・フューチャー・メディア株式会社代表取締役 伊藤 博之

海外でさまざまな体験をしたいと思います。目的以外のことに對してもアンテナを張って、いろいろなことを学んでください。また帰国後には、学んだことを自分の周りの方々にも教えてあげるよう努めてください。

■一般社団法人地域研究工房 代表理事 小磯 修二

海外に出ると、日本や北海道を代表する立場で対応しなければならない局面が多くあります。日本、北海道についてしっかり理解しておくことが、海外での相互理解を深めることになり、皆さんの活動を一層盛り上げるものになるでしょう。

■株式会社アミノアップ代表取締役会長 小砂 憲一

皆さんそれぞれ留学する目的が明確で、その上「北海道のために」という共通点を持っている。海外でしっかり学んで、帰国後は学んだことを幅広い人たちや、北海道の産業、スポーツ界などに還元してほしいと思います。

■株式会社すし善 代表取締役 嶋宮 勤

日本の国には、素晴らしい北海道がある。若者の力でさらに世界に轟く北海道にしよう。皆さんの熱い想いに期待しています。

■株式会社INDETAIL 代表取締役 坪井 大輔

色々な人種の方々とコミュニケーションをとって彼らの考え方を学ぶと、今後活かせる場面が必ずあります。留学テーマ以外でも、そういった着眼点で多くの人と触れあって欲しいと思います。

■株式会社セコマ 代表取締役社長 丸谷 智保

留学中の6か月や1年は、あっという間に過ぎてしまいます。それ故、留学前に改めて、何を学んでくるのかよく考えて、そして、真っ白で素直な気持ちで臨んでもらいたいと思います。それが、充実した留学期生活を過ごすポイントです。

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL：011-206-7380（直通） FAX：011-232-6313

E-mail：mirai_jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm



助成対象者のチャレンジ
風景をお届けします。

